

**「非正規雇用市場における採用・求職動向レポート(22年9-10月)」を発表****アルバイトにおける企業の求人ニーズ・個人の求職ニーズはともに前年比で増加  
スポットワーカーの採用意向がある企業は約4割。理由は「即戦力人材獲得」「人件費削減」が上位**

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員：土屋芳明）は、全国の企業、個人それぞれを対象に実施した、「非正規雇用市場における採用・求職動向レポート（22年9-10月）」の結果を発表しました。

**《TOPICS》**

- ◆ アルバイトにおける企業の求人ニーズ・個人の求職ニーズはともに前年比で増加。年末に向けて求人活動・求職活動ともに活発化【図1、2】
- ◆ アルバイト求職者の希望下限時給の平均は1,091円。一方で、募集時給の平均は1,082円で求職者の希望下限時給以下に。特に「飲食・フード」でギャップは大きい【図3】
- ◆ 今後、スポットワーカーの採用意向がある企業は約4割。採用したい理由は即戦力人材獲得・人件費削減のためが上位【図4、5】

**【調査概要】**

企業の求人ニーズ（次月以降にアルバイトの採用活動の予定がある企業の割合）は23.0%（21年9-10月比：+2.5pt）、また、個人の求職ニーズ（「次月以降の新しいアルバイトをすでに探している求職者」+「探すことを検討中の求職者」の合計）は18.4%（21年9-10月比：+0.7pt）となり、年末に向けてアルバイトの採用活動・求職活動が活発化する様子が見えてくる。【図1】

企業の求人ニーズが高い職種は、「オフィスワーク」が26.7%で最も高く、次いで「工場・倉庫・建築・土木」が22.3%。一方で、個人の求職ニーズの高い職種では、「オフィスワーク」が20.4%で最も高く、次いで「販売・接客・サービス」が17.2%となった。

企業の求人ニーズと、個人の求職ニーズの乖離が最も大きい職種は「工場・倉庫・建築・土木」で16.3pt差、次に「医療・介護・保育」が14.9pt差で、どちらも求人ニーズが求職ニーズを上回る結果となった。【図2】

年末に向け、アルバイト市場が活発化することが予想されるが、職種により求人・求職のニーズが上手くマッチせず、人手確保に苦戦するであろう職種が見て取れる結果となった。

22年9-10月にアルバイトの仕事を探した人の希望下限時給の平均は1,091円、一方で、企業のアルバイト募集時給の平均は1,082円となり、9円ほど求職者の時給ニーズを満たしていない結果となった。職種別で比較すると、企業の募集時給より個人の希望下限時給が高いのは、「飲食・フード」で+59円、次いで「オフィスワーク」で+6円となった。【図3】

飲食業界では人材確保が難しい状況が続いているが、アルバイト求職者の希望下限時給に満たない募集時給となっていることが一因と考えられる。

現在スポットワーカー（数時間単位の超短期雇用者）※を採用している企業は16.9%、業種別では「ソフトウェア・通信」で28.8%と最も高く、次いで「飲食・宿泊」で23.8%となった。

また、今後採用意向がある企業は38.2%で、業種別では「ソフトウェア・通信」が44.2%で最も高く、次いで「飲食・宿泊」で42.9%となり、現在の採用率が高い業種で今後の採用意向も高い結果になった。

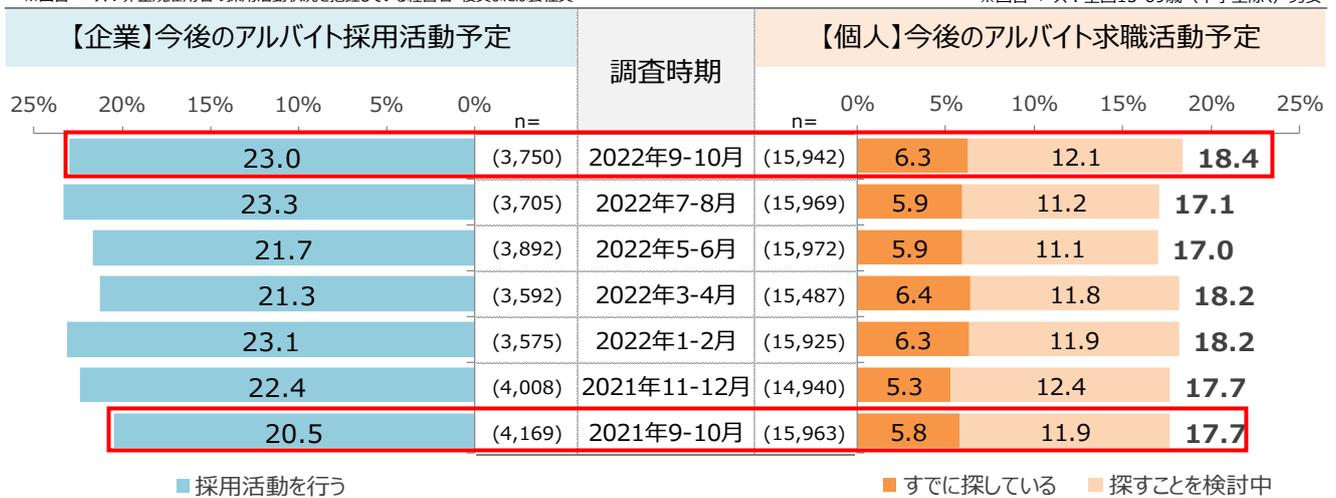
スポットワーカーを採用したい理由としては、「即戦力人材獲得のため」が37.4%で最も高く、次いで「人件費削減のため」が34.2%、「突発的な欠員に対応するため」が29.5%となった。【図4、5】業務の繁閑差対応や急な勤務シフトの変更などによる人手不足を補いたい企業は、スポットワーカーに即戦力としてのスキルを期待している様子が見受けられる。

※ネットで単発の仕事を探る料率宅配員など「ギグワーカー」の多くが業務委託なのに対して、「スポットワーカー」は受け入れ企業との間に雇用関係がある点が特徴。

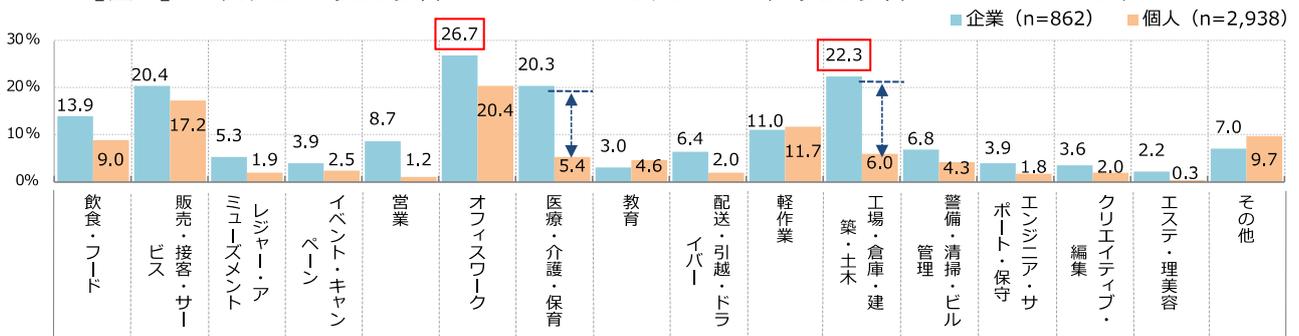
【図1】企業の次月以降の求人ニーズ／個人の次月以降の求職ニーズ

※回答ベース：非正規雇用者の採用活動状況を把握している経営者・役員または会社員

※回答ベース：全国15-69歳（中学生除く）男女

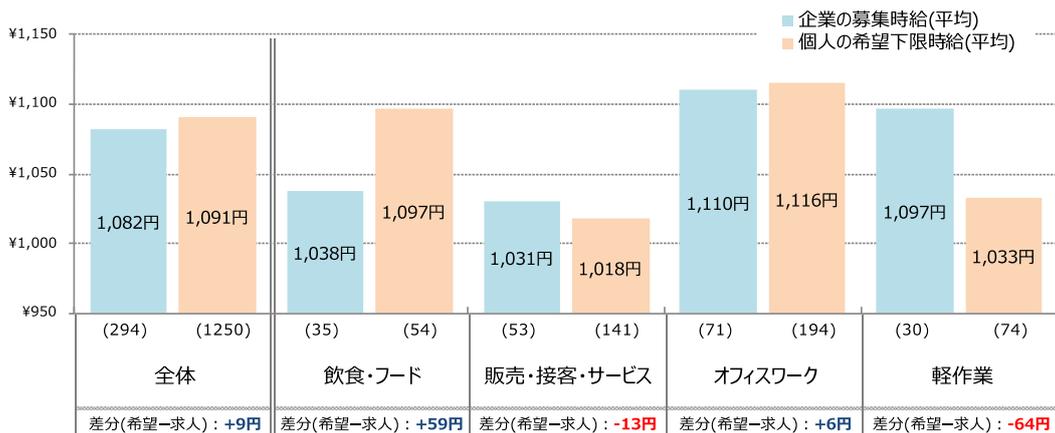


【図2】＜職種別＞次月以降のアルバイト求人ニーズ／次月以降のアルバイト求職ニーズ

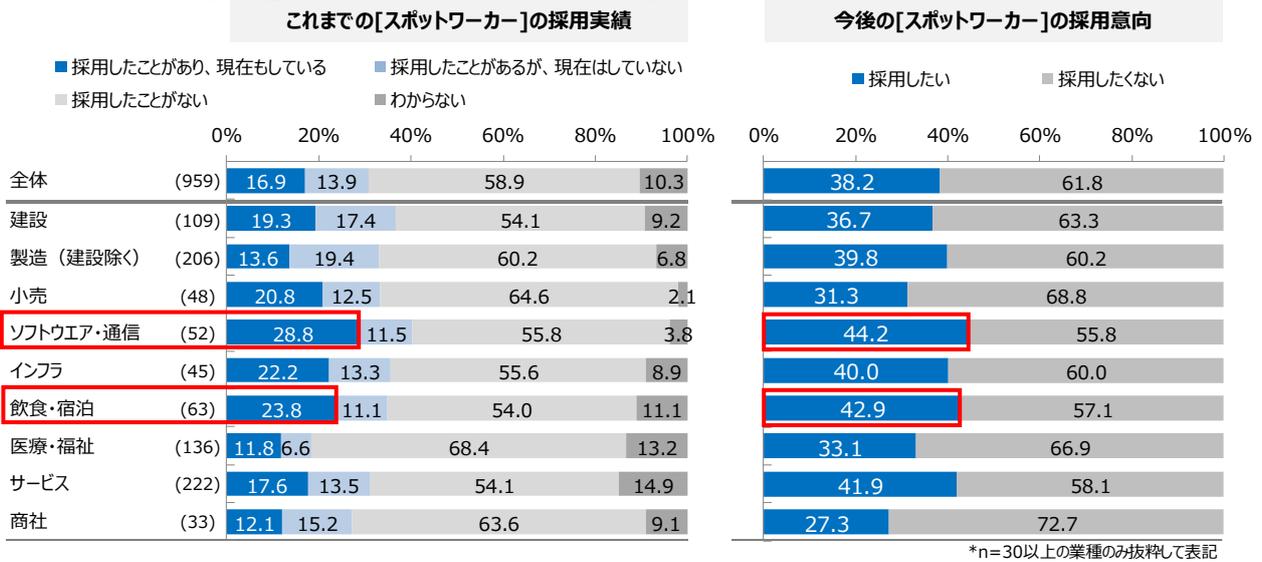


\*求人ニーズ・求職ニーズともに複数回答

【図3】企業の募集時給と個人の希望下限時給の比較（数値回答）

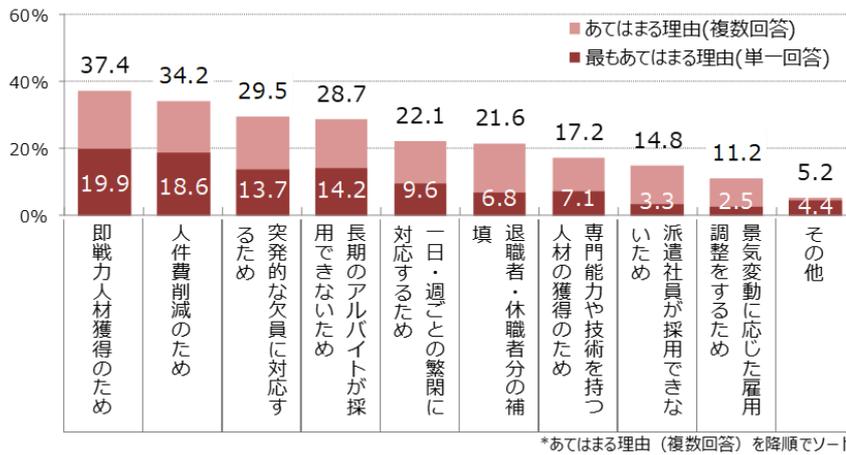


【図4】 スポットワーカーの採用実績と今後の採用意向（単一回答）



【図5】 今後、スポットワーカーの採用をしたい理由

※回答ベース：今後スポットワーカーを採用したいと回答した（n=366）



【調査概要】「非正規雇用市場における採用・求職動向レポート（22年9-10月）」

○調査期間／  
 企業：2022年11月1日（火）～11月2日（水） 個人：2022年11月1日（火）～11月7日（月）  
 ○調査方法／WEB上のアンケートフォームより入力  
 ○調査対象／  
 <企業>  
 スクリーニング調査：従業員数10名以上の企業に所属している全国の経営者・役員または会社員で、自社の採用方針を把握している人  
 本調査対象：上記のうち、自社の非正規雇用労働者の採用方針について把握しており、直近2カ月以内に採用活動を行った又は新規採用を行った人  
 <個人>  
 スクリーニング調査：全国の15-69歳の男女（中学生を除く）  
 本調査：全国の15-69歳の男女（中学生を除く）のうち、直近2カ月以内に非正規雇用の仕事探しをした人  
 ○調査機関／自社調べ  
 ○有効回答数／  
 企業…スクリーニング調査：16,500名 本調査：959名  
 個人…スクリーニング調査：15,942名 本調査：1,646名

※調査結果の詳細は会社HPのニュースリリース（<https://www.mynavi.jp/news/>）からご確認いただけます